



IR活動を通じた企業理念の実践 ーディスクロージャー優良企業賞に寄せてー

オムロン株式会社 執行役員 グローバルインベスター&ブランドコミュニケーション本部長
井垣 勉

この度は、電気・精密機器部門において、栄誉ある「ディスクロージャー優良企業」に選定いただき、厚くお礼を申し上げます。弊社が同部門の優良企業に選定されるのは、前回の2016年度から2年ぶり・通算5回目となります。これも、日本証券アナリスト協会をはじめとするインベストメントチェーン関係者の皆様のご支援の賜物でございます。改めて、ここに深謝申し上げます。

オムロンは、1959年に制定した社憲「われわれの働きで われわれの生活を向上しよりよい社会をつくりましょう」の精神を企業理念として現在に受け継いでおります。また、この企業理念を日々の経営や事業運営に繋げる仕組みとして「経営のスタンス」を定め、その柱の一つに「ステークホルダーとの責任ある対話（エンゲージメント）の実行」を掲げています。従って、オムロンではIR活動も企業理念の実践であり、よりよい社会をつくることへの貢献を目指す重要な活動と位置付けています。

スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの導入・改訂、フェア・ディスクロージャー・ルール of 導入など、目まぐるしく変化するインベストメントチェーンにおいて、オムロンはIR活動を通じて株主や投資家との対話の質の向上を目指し、地道な改善を重ねてまいりました。今回の選定において評価をいただいたこれらの活動について、この場を借りてあらためて紹介させていただきます。

①中長期視点に立った公平・公正な情報開示と対話

フェア・ディスクロージャー・ルールが導入され、企業の情報開示はより厳しく規制されるようになりました。オムロンでは上場企業としての規則を守りつつ、日々のIR活動において投資家との健全な対話続けることを意識しています。例えば、四半期の業績を速やかに開示して説明するだけでなく、中長期の企業価値向上ストーリーを積極的

に、統合レポートなどを活用して伝えることで適切に企業価値を評価していただける対話に繋げています。

②コーポレート・ガバナンスの進化とさらなる向上に向けた対話

オムロンでは、約20年かけてコーポレート・ガバナンスを充実してきました。近年では、コーポレートガバナンス・コードの諸原則をすべて実施し、さらに株主との対話を通じた要望なども踏まえて、取締役会の実効性評価や中長期業績連動型株式報酬を導入しました。また、CEOやCFOが投資家と直接対話する機会を積極的に設け、さらなる企業価値の向上や国際社会の期待に応えられるような信頼関係の構築に繋げています。

③サステナビリティ目標に沿ったESG情報の開示と対話

PRIの広がりやスチュワードシップ・コードの導入により、企業評価におけるESG情報の重要性が高まっています。オムロンでは持続的な企業価値向上を目指してサステナビリティ目標を設定し、中期経営計画とも連動させて取組みを強化しています。この目標や取組みと投資家が求めるESG情報を結びつけ、より中長期視点での建設的な対話へと繋げています。さらに統合レポートでの開示やESG説明会等を通じて投資家のより深い理解の促進を目指しています。

オムロンは、今後もよりよい社会の実現を目指し、中長期にわたる持続的な企業価値の向上を目指した経営視点の対話をより一層充実してまいります。また、日本証券アナリスト協会の益々のご発展とインベストメントチェーン全体のさらなる進展にも寄与してまいります。今後とも、倍旧のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。